

適合ライトバー	明るさ		適合ライトバー	明るさ	
ひとセンサ付	6900lmタイプ	NNL (H) 4600NNK	ひとセンサ付	2500lmタイプ	NNL (H) 4200NNC
	5200lmタイプ	NNL (H) 4500NNK		2000lmタイプ	NNL (H) 4100NNC
	4000lmタイプ	NNL (H) 4400NNC	明るさセンサ付	6900lmタイプ	NNL (H) 4600ANK
	3200lmタイプ	NNL (H) 4300NNC			

N: 昼白色 (5000K)

適合本体	DスタイルW150	DスタイルW230	反射笠付型	iスタイル	特注品	
直付型	NNLK (H) 41515	NNLK (H) 42523	NNLK (H) 41517	NNLK (H) 41509	FAHX7 FAHX30 FTE980D FTE980DS FTE981D FTE981DS NSR83L9 NSR84L9	
適合本体	下面開放型W150	下面開放型W190	下面開放型W220	下面開放型W300	Cチャンネル回避	
埋込型	単体	NNLK (H) 41715J	NNLK (H) 41719J	NNLK (H) 42722J	NNLK (H) 42730J	NNLK (H) 42742
	連結中用	NNLK (H) 41716J	NNLK (H) 41720J	NNLK (H) 42723J	NNLK (H) 42731J	
	連結右用	NNLK (H) 41717J	NNLK (H) 41721J	NNLK (H) 42724J	NNLK (H) 42732J	
	連結左用	NNLK (H) 41718J	NNLK (H) 41722J	NNLK (H) 42725J	NNLK (H) 42733J	

- ・上記 () 内は加工品番です。以降、加工品番および特注品番の記載を省略します。
- ・本照明器具はパナソニック製iDシリーズ専用本体とライトバーの組合せで性能を満足します。
- ・適合本体と適合ライトバーの組合せは承認図・カタログを参照してください。
- ・上表以外の本体をご使用の場合は、本体に同梱の説明書を参照してください。

下記組合せは、公共施設用照明器具型番となります。

器具タイプ	公共施設用照明器具型番	ライトバー品番	本体品番
Dスタイル W150	LDS1/2-LSS9-2200LM	NNL4200NNC	NNLK41515
	LDS1/2-LSS9-2950LM	NNL4300NNC	NNLK41515
	LDS1/2-LSS9-4700LM	NNL4500NNC	NNLK41515
	LDS1/2-LSS9-6500LM	NNL4600NNC	NNLK41515
Dスタイル W230	LDS1/2-LSS10-4700LM	NNL4500NNC	NNLK42523
	LDS1/2-LSS10-6500LM	NNL4600NNC	NNLK42523
iスタイル	LDS1/2-LSS1-2200LM	NNL4200NNC	NNLK41509
	LDS1/2-LSS1-2950LM	NNL4300NNC	NNLK41509
	LDS1/2-LSS1-4700LM	NNL4500NNC	NNLK41509
	LDS1/2-LSS1-6500LM	NNL4600NNC	NNLK41509

(一般屋内用) ・器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

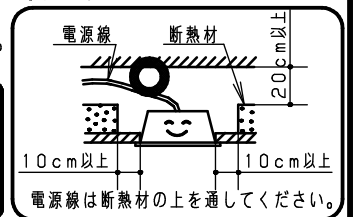
施工説明

工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。

安全に関するご注意

警告

- ライトバーを単独で使用しない。必ずパナソニック製iDシリーズ専用本体とライトバーの組合せで使用する。
- 落下・感電・火災の原因となります。
- 施工は、施工説明にしたがい確実に行なう。施工に不備があると落下・感電・火災の原因となります。
- 本体、ライトバーを分解、改造しない。落下・感電・火災の原因となります。
- ライトバーのパネルは樹脂製のため、取扱いに注意する。破損によるケガの原因となります。
- 万が一、破損した場合は、すぐに電源を切り交差して、感電、火災の原因となります。
- ライトバーが破損した状態で使用しない。
- 表示された電源電圧 (定格電圧±6%) ・周波数で使用する。
- 指定外の電源電圧・周波数で使用すると、感電・火災の原因となります。
- 断熱材、防音材をかぶせて使用しない。火災の原因となります。(埋込型のみ)
- 水平天井埋め込み取付専用です。他の取付はしないでください。落下の原因となります。(埋込型のみ)

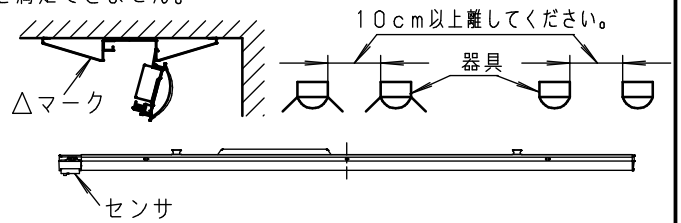


注意

- 直射日光の当たる場所、湿気の多い場所、振動の強い場所、雨水のかかる場所、腐食性ガスの発生する場所では使用しないでください。落下・感電・火災の原因となります。
- 周囲温度は、5~35℃以内で使用してください。指定外の周囲温度で使用すると、ちらつきや短寿命の原因となります。
- 一般屋内で使用する場合でも、器具周辺に硫黄成分が存在する場所では使用しないでください。
- (一部の食品や薬品の排気ガスには硫黄成分が含まれます。) 光学性能に影響を与える場合があります。
- ライトバーのパネルはポリカーボネート製のため、直射日光の当たる場所や蛍光灯が近接する場所などの紫外線の多い場所、ヘキサンやアセトンなどの有機溶剤が使用される場所では使用しないでください。パネルの劣化・破損の原因となります。
- 電源線の器具間送り配線は、天井裏に電源線を戻して配線することを推奨します。エンドK0より器具内送りをする場合は、6900、5200lmタイプはエコケーブル (EM-EE) をご使用ください。感電・火災の原因となります。
- 電源方式により騒音 (うなり) が大きくなる場合がありますので、以下の配線を行なってください。
 - ・三相電源を使用する場合は、必ず接地極を器具の端子台のN側に接続してください。
 - ・電源と器具間に片切りスイッチを設ける場合は、必ず非接地側 (充電側) にお取り付けください。

施工上のご注意

- 水平天井取付専用です。他の取付はしないでください。センサの性能を満足できません。
- ライトバーの取り付けには方向性があります。壁面付近に取り付ける場合、本体の△マークを室内側にしてください。また、壁面からは50cm以上離して取り付けてください。
- 本体の取り付け方向によりセンサの位置が決まります。本体端子台の反対方向に配置されます。ライトバー単体ではセンサの取り付け方向は変更できません。
- 器具を密集して取付けないでください。密集させて取付けると、過熱により故障の原因となります。(反射笠付型、iスタイルの場合)
- 電源線の器具間送り配線は、エンドK.O.より器具内送り配線することもできますが、器具内のスペースが狭くなっていますので、天井裏に電源線を戻して配線することを推奨します。
- バーコードリーダーの機種によっては器具付近で使用した場合、読み取り感度が鈍くなる場合があります。この場合には、器具との距離を離すか遮蔽するなどの対策を講じてください。
- 虫の飛来が多い場所で使用される場合は、ライトバー内に虫が侵入する恐れがあります。このような場合は防湿・防雨型ベースライトなどの防虫仕様器具をお勧めします。
- 本体に耐熱チューブ使用と表示されている場合でも、6900lmタイプのライトバーは耐熱チューブは不要です。但し、和風直付ベースライトは、本体に同梱の耐熱チューブを使用します。



各部のなまえと取付方法《直付型の場合》

警告

施工は、施工説明書にしたがい、確実に行う。
施工に不備があると、火災・感電・落下の原因となります。
ライトバーの取付・取外しは必ず電源を切る。

器具の取付・取外しは手袋など保護具を使用する。
けがのおそれがあります。

【NNLK42523+ライトバーの例で説明しています。】

1 取付前の確認

- 既設器具取替えの場合、周辺機器の電気容量を確認する。不備があると感電・火災の原因となります。
- 器具質量(2.2kg：NNLK42523+ライトバーの場合)に十分に耐えるよう、取付ボルト又は、木ネジ取付部(ネジ掛かり代)の強度を確保する。(取付ボルトは、W3/8又はM10を使用する。)(木ネジは、丸木ネジの呼び4.1以上を使用する。)
- 本体に仮止めしているコネクタを外す。不備があると器具落下の原因となります。

2 本体の取付

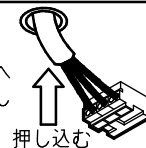
- 電源線、アース線を本体の電源穴から引き込んでおく。電源プッシングがついていない電源穴(エンドK.O穴含む)を使用する場合は、必ず電源プッシングを付替えてください。
- 本体を取付ボルト又は、木ネジで確実に取付ける。(取付ボルト推奨トルク値：1.5N・m)不備があると器具落下の原因となります。

3 電源線・アース線の接続

- 電源線、アース線を確実に差し込む。
- D種(第3種)接地工事が必要。
- 端子台の最大送り容量は右表の通りです。接続が不完全な場合や容量オーバーの場合、火災の原因となります。

明るさタイプ	容量
6900lmタイプ	12A
5200lmタイプ	11A
4000lmタイプ	14A
3200lmタイプ	20A
2500lmタイプ	20A
2000lmタイプ	20A

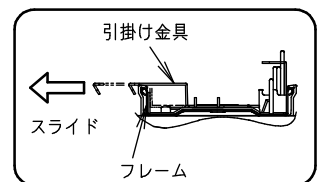
注) 電源線接続後、余分な電源線はライトバーとの当たりを防ぐため電源穴へ押し込むか、電源線を押しつけて処理すること。



10~14mm
適合電線：φ1.6(単線) φ2.0

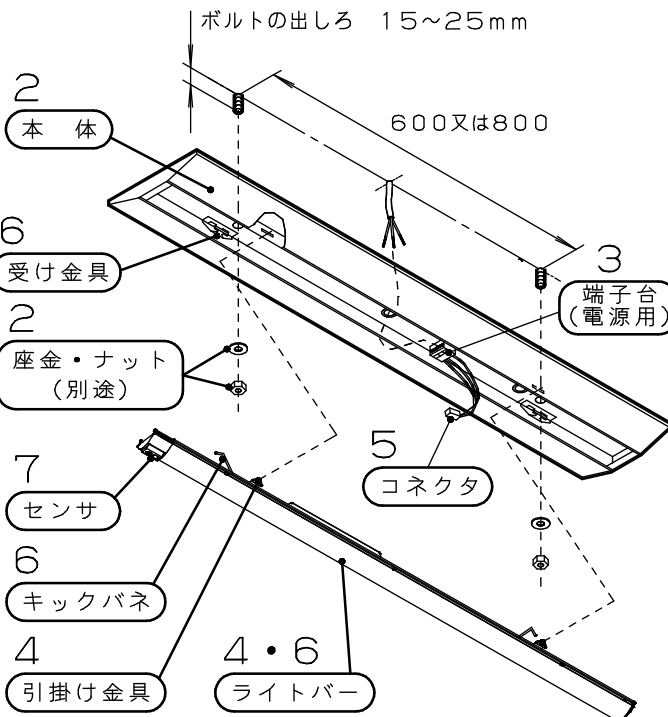
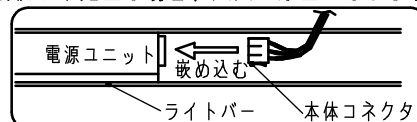
4 ライトバーの引掛け

- ライトバーの引掛け金具をフレームに当たるまでスライドさせ、本体の角穴に片側ずつ確実に引掛ける。取付が不完全な場合、ライトバー落下の原因となります。



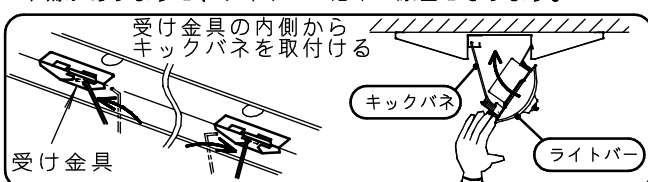
5 コネクタの接続

- 本体とライトバーのコネクタを確実に接続する。『カチッ』っと音がするまで嵌め込んでください。接続が不完全な場合、火災の原因となります。



6 ライトバーの取付

- ライトバーのキックパネを本体の受け金具に確実に取付ける。
- コネクタを挟まないようライトバーを本体内へ押し上げる。不備があると、ライトバー落下の原因となります。



各部のなまえと取付方法《直付型の場合》（続き）

ア センサ動作モードの設定（ひとセンサの場合）

- ・センサのスイッチを操作して動作モードを設定する。
- ・工場出荷時は、設定番号“1”に設定しています。

(ひとセンサ)

スイッチ

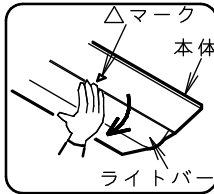
＜ひとセンサの場合＞

1. “ON/OFF (Nタイプ)” 1分後に段調光し、更に2分後に消灯します。
2. “段調光 (NTタイプ)” 1分後に段調光します。
3. “センサ切” センサ制御せず、連続で点灯します。

番号	動作モード	動作
1	ON/OFF (Nタイプ)	1分後段調光、更に2分後消灯
2	段調光 (NTタイプ)	1分後段調光
3	センサ切	連続点灯

■ ライトバーを取外す場合

1. 本体の△マークを目印に、手でライトバーを引き下げる。工具でこじ開けますと、ライトバー破損の原因となります。
2. キックパネを本体の受け金具から外す。
3. コネクタを外す。
4. ライトバーの引掛け金具を本体から外す。



ア センサ動作モードの設定（明るさセンサの場合）

- ・センサのスイッチを操作して動作モードを設定します。
- ・点灯中モードを変更した場合は、使用されるモードに設定してから電源を1分以上OFFして下さい。（設定が反映されません）
- ・工場出荷時は、設定番号“1”に設定しています。

(明るさセンサ)

スイッチ

＜明るさセンサの場合＞

1. “明るさ目標値固定” 居間のみのご使用、定期的に消灯させてご使用の場合
2. “明るさ目標値自動更新” 前回ご使用時の明るさを維持するように自動操作します
3. “センサ切” 明るさ制御しない場合

番号	動作モード	動作
1	明るさ目標値固定	
2	明るさ目標値自動更新	
3	センサ切	

※センサ切モードは電源ONしてから約15秒間は暗く点灯しますが通常の明るさに戻ります。

注) 初回点灯時は1分以上点灯させてください。
工場出荷後、初回点灯時は明るさフィードバック制御を行いません。次回点灯時以降、前回の明るさを維持するように自動コントロールします。初回点灯は1分以上点灯させなければ明るさを記憶しません。

各部のなまえと取付方法《埋込型の場合》

(N: 連結台数)

本体品番	【単体取付】 埋込寸法: W×L	【連結取付】 埋込寸法: W×(L)	P		【単体連結取付】 埋込寸法: W×(L)	P		H ボルト 引込しろ
			器具取付ピッチ			器具取付ピッチ		
			600	800		600	800	
NNLK41715J	150×1235	150×(1224×N+10)	624	424	150×(1254×N-20)	654	454	30~40
NNLK41719J	190×1257	190×(1244×N+10)	644	444	190×(1274×N-20)	674	474	
NNLK42722J	220×1235	220×(1224×N+10)	624	424	220×(1254×N-20)	654	454	35~45
NNLK42730J	300×1257	300×(1244×N+10)	644	444	300×(1274×N-20)	674	474	
NNLK42742	220×1235	—	—	—	220×(1254×N-20)	—	451	5~10

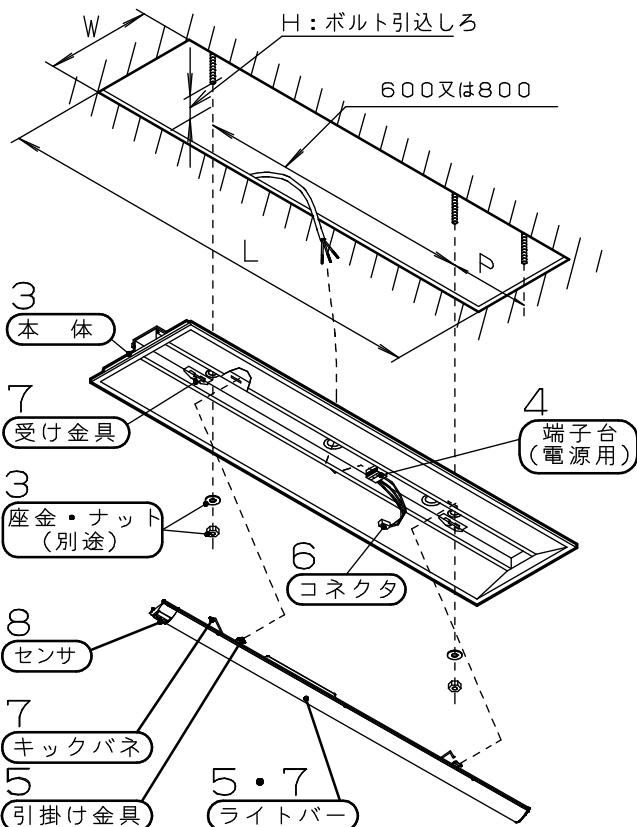


警告

施工は、施工説明書にしたがい、確実に行う。
施工に不備があると、火災・感電・落下の原因となります。
ライトバーの取付・取外しは必ず電源を切る。

器具の取付・取外しは手袋など保護具を使用する。
けがのおそれがあります。

【NNLK42730J+ライトバーの例で説明しています。】



1 取付前の確認

- ・既設器具取替えの場合、周辺機器の電気容量を確認する。不備があると感電・火災の原因となります。
- ・器具質量 (3.2kg: NNLK42730J+ライトバーの場合) に十分に耐えるよう、取付ボルトの強度・天井材の強度を確保する。(取付ボルトは、W3/8又はM10を使用する。)
- ・本体に仮止めしているコネクタを外す。不備があると器具落下の原因となります。

2 埋込穴の開口

- ・埋込穴、取付ボルトを図の様に用意しておく。 ※詳細寸法は上表参照

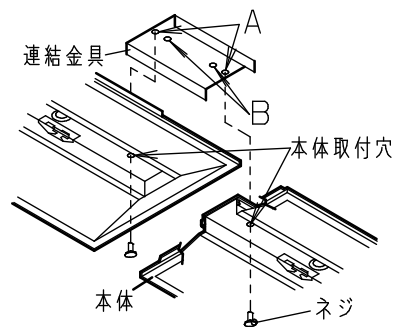
3 本体の取付

- ・電源線、アース線を本体の電源穴から引き込んでおく。電源プッシングがついていない電源穴を使用する場合は、必ず電源プッシングを付替えてください。

【単体連結の場合】

- ・本体の外側に連結金具 (NNFK91001 (別途)) をはめ込み、確実にネジ止める。
本体、連結金具の取付穴組合せ

本体品番	連結金具 取付穴
NNLK41715J	B
NNLK41719J	A
NNLK42722J	B
NNLK42730J	A



- (注) 上表以外の本体の場合は、本体に同梱の説明書を参照ください。
- ・本体を取付ボルトで確実に取付ける。
(取付ボルト推奨トルク値: 0.6N・m)
- 【連結の場合】 (連結金具は、使用しません)
- ・本体は、右用から順次取付ける。
- (注) 左用は最後に取付ける。
不備があると器具落下の原因となります。

各部のなまえと取付方法《埋込型の場合》（続き）

4 電源線・アース線の接続

- ・電源線、アース線を確実に差し込む。
- ・D種（第3種）接地工事が必要。
- ・端子台の最大送り容量は右表の通りです。

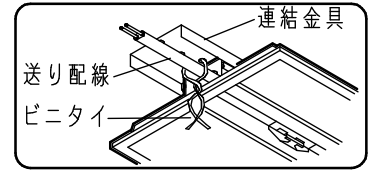
明るさタイプ	容量
6900lmタイプ	12A
5200lmタイプ	11A
4000lmタイプ	14A
3200lmタイプ	20A
2500lmタイプ	20A
2000lmタイプ	20A

【単体連結の場合】

- ・天井裏に電源線に戻して配線することを推奨していますが、器具内送り配線をする場合はビニタイで結束する。接続が不完全な場合や容量オーバーの場合、火災の原因となります。

注) 電源線接続後、余分な電源線はライトバーとの当たりを防ぐため電源穴へ押し込むか、電源線を押つけて処理すること。

1.0~1.4mm
適合電線：φ1.6（単線） φ2.0



- 5 ライトバーの引掛け（直付型の場合を参照）
6 コネクタの接続（直付型の場合を参照）

- 7 ライトバーの取付（直付型の場合を参照）
8 センサ動作モードの設定（直付型の場合を参照）

施工後の動作確認（ひとセンサの場合）～動作モードの設定は、器具出荷状態で、設定番号“1”になっています。～

確認手順	<ON/OFF (Nタイプ) の場合 (設定番号“1”) >	<段調光 (NTタイプ) の場合 (設定番号“2”) >
1. 電源を入れて検知エリアの外でお待ちください。	20秒後に消灯します。 (消灯する前に人を検知した場合は、最後の検知から1分後に調光し、さらに2分後に消灯します)	20秒後に段調光します。 (調光する前に人を検知した場合は、最後の検知から1分後に段調光します)
2. 検知エリア内に入ってください。	器具が、明るく点灯します。	器具が、明るく点灯します。
3. 再度検知エリアの外に出てください。	1分後に調光し、さらに2分後に消灯します。	1分後に段調光します。

取扱説明

お客様へ、この説明書は必ず保管ください。

- ・ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

安全に関するご注意

警告

- 必ずパナソニック製 iD シリーズ専用本体とライトバーの組合せで使用する。落下・感電・火災の原因となります。
- 本体、ライトバーを分解、改造しない。落下・感電・火災の原因となります。
- ライトバーのパネルは樹脂製のため、取扱いに注意する。破損によるケガの原因となります。万一、破損した場合、すぐに電源を切り交換してください。
- ライトバーが破損した状態で使用しない。落下、感電、火災の原因となります。
- 万一、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常が発生した場合、すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼する。そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。
- ライトバーを取外す場合は、必ず電源を切る。感電の原因となります。

注意

- シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で器具を拭かないでください。変色、変質、強度低下による破損の原因となります。水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。
- 照明器具には寿命があります。設置して10年※経つと、外観に異常がなくとも内部の劣化は進行しています。点検交換してください。LED光源は寿命が来ても、暗くなりますが点灯し続けます。点灯出来るからといって継続して使用が可能というわけではありません。
※ 使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯です。
- 周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。
- 1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。3年に1回は工事店等の専門家による点検をお受けください。(チェックシート番号：CLX2021HA) 点検せずに長時間使い続けるとまれに落下・感電・火災に至る場合があります。

■LED照明器具の光源寿命は、40,000時間です。

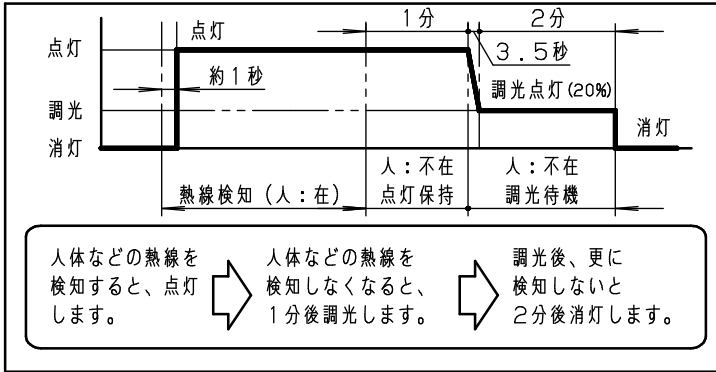
設定について (ひとセンサの場合)

ひとセンサについて

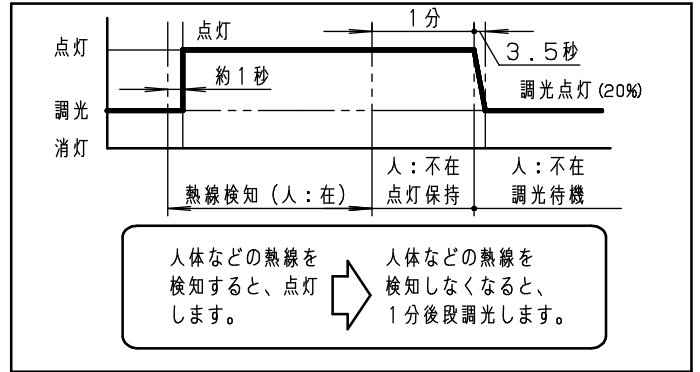
- 電源投入後、約20秒間(センサの安定化待機時間)は強制的に点灯し、その後、センサによる制御を開始します。
(この間、センサスイッチを操作すると減光しますが、安定化待機終了後通常点灯に戻ります)

ひとセンサの動作

<ON/OFF (Nタイプ) の場合 (設定番号"1") >



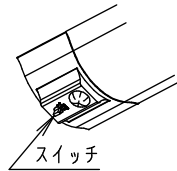
<段調光 (NTタイプ) の場合 (設定番号"2") >



動作モードの設定について

センサ部のスイッチで、右表のように設定できます。

番号	動作モード	人がいる場合の明るさ	不在時の明るさ
1	ON/OFF (Nタイプ)	100%	20%→OFF
2	段調光 (NTタイプ)		20%
3	センサ切		100%



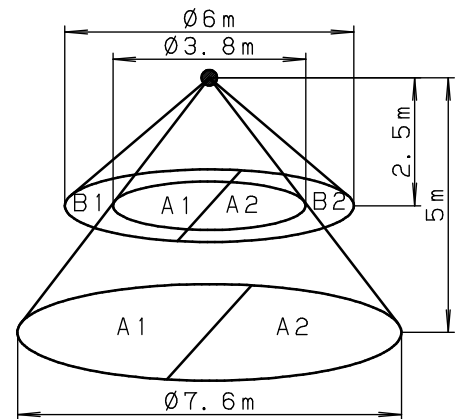
センサについて

センサは検知エリアに入る人体などの"熱源の動き"を検知します。
(検知温度差: 3℃以上、検知速度: 0.3~1 m/s)
周辺部は、若干感度が鈍ります。

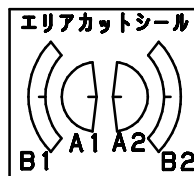
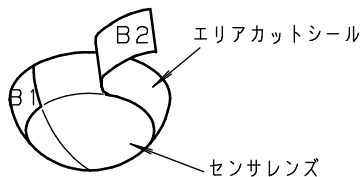
- (注) ・器具の取付高さが高くなると、検知感度が鈍くなります。
・周囲温度、人体温度などの条件により検知エリアに差異が生じる場合があります。
・センサに向かって真っすぐ接近した場合、より近づかないと検知しない場合があります。
・検知範囲内でも小さな動きは検知できない場合があります。

<検知エリア>

周囲温度: 20℃の場合 ※使用温度: 5~35℃



センサレンズにエアアカットシールを貼ることで検知エリアを限定できます。



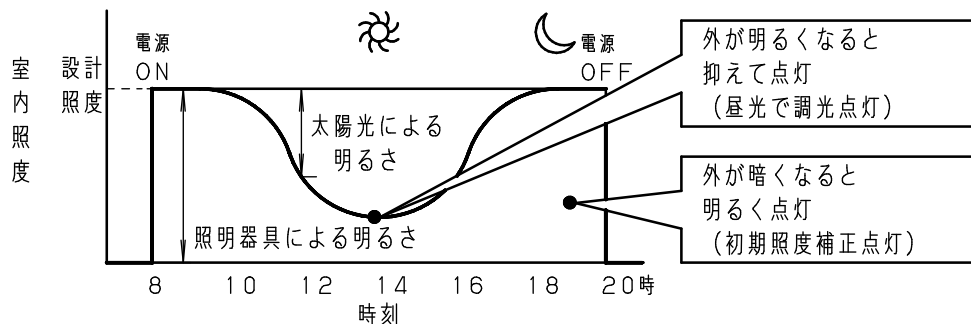
使用上のご注意 (ひとセンサの場合)

- 光源として高輝度LEDを使用しています。光源部(ライトバー)を長時間直視しないでください。
- ラジオ、テレビや赤外線リモコン方式の機器は照明器具から離してご使用ください。雑音が入ったり、正常に動作しない場合があります。
- 同時通訳機等の誘導無線をご使用になられる場合、雑音が入る場合があります。事前に確認し、対策を講じてください。
- 周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。
- LED素子にバラツキがあるため、同じ品番のライトバーでも光色・明るさが異なる場合があります。予めご了承ください。
- 電源電圧変動などの影響により瞬間的に明るくなったり暗くなったりする場合があります。予めご了承ください。
- ライトバーの品種により始動時間が異なる場合があります。
- 点灯直後・消灯直後にプラスチックの伸縮によるさしみが発生する場合がありますが、故障や異常ではありません。
静かな環境や密集取付でご使用の場合、さしみが気になる場合があります。この様な場合は直管LED等のプラスチック製カバーのないタイプをお勧めします。
- ライトバーの品種により始動時間が異なる場合があります。予めご了承ください。
40形5200lm非調光(省エネ・センサ付・非常灯除く)と20形800lm非調光の場合は、瞬時に点灯します。
- この器具(センサ)は、熱線を検知する為、人体以外の温度変化でも検知する場合があります。
(例) ・太陽光などの強い光の直接照射 ・エアコンなどの気流
・検知範囲内の照明器具 ・ブラインドやカーテンなどの動き
・人体以外の小動物の動き ・強いノイズが入った場合
- この器具(センサ)は、温度変化を検知する為、以下の様な場合には検知範囲や感度が多少鈍くなる場合があります。
(例) ・夏場など周囲温度が人体とあまり変わらない場合
- この器具(センサ)は、"動き"を検知する為、静止している場合や動きの小さい場合は検知しない場合があります。
- センサのビームを遮断する障害物がある場合は、検知できません。

動作について（明るさセンサの場合）

明るさフィードバック制御の基本動作について

- ・LEDの光束減退に応じて光出力を制御する初期照度補正を行います。^{*1}
- ・昼光が入る場所、時間帯では適正照度を確保するよう昼光に応じて、光出力を自動コントロールします。^{*2}



※1 自動初期照度補正による制御は、定格出力の約85%の光束を保つように設計されています。

※2 昼光が強い場合には、設計照度より明るくなる場合があります。

明るさ目標値の固定機能について（設定スイッチ”モード1”の場合）

初回、1分以上点灯させた時の明るさを強制的に記憶させ、その明るさを維持するように制御します。

※明るさを記憶させる場合は、夜間など、外光が入ってこない時にお願いします。

下記のような場合でのご使用をおすすめします。

- ・昼間のみのご使用の場合
- ・昼間、定期的に消灯させてご使用の場合（昼休みに消灯させる等）

※レイアウト変更があった場合や、明るさの記憶がうまくできなかった場合、明るさの記憶を外光の入ってくる昼間に設定した場合など、記憶している明るさをリセットする必要があります。

8ページ記載の『明るさ記憶のリセットについて』を参照し、明るさの記憶をリセットしてください。

明るさおまかせ機能（自動で明るさ目標値を更新する機能）について（設定スイッチ”モード2”の場合）

「明るさおまかせ機能」はご使用場所の運用にあわせて、前回ご使用時の明るさを維持するように自動操作する当社独自のアルゴリズムです。

※ 「明るさおまかせ機能」は使用場所の運用に合わせて、前回使用時の明るさを維持するように自動的に動作します。

昼間のみのご使用、昼間に消灯させて使用する場合には、適正照度が得られない場合があるため、設定スイッチ”モード1”でのご使用をお勧めします。

※ 照明器具個々に調光動作を行う為、一時的に器具間にLEDの輝度差が発生する場合があります。予めご了承ください。

※ レイアウト変更などにより反射率が変化した場合、おまかせ機能による照度の補正に時間がかかる場合があります。極端に暗い状態が続くなど作業に支障をきたす場合は、10分以上点灯させた後、電源を1分程度OFFし、再度電源を入れ直してください。おまかせ機能により自動で照度を補正します。

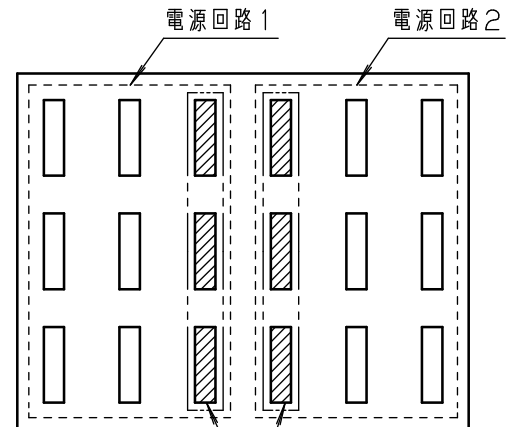
（点灯後、10分経過しても変化が無い場合は再度電源を1分程度OFFし、電源ONの操作を行ってください。）

使用上のご注意（明るさセンサの場合）

- この器具は自動初期照度補正機能付照明器具です。定格出力の約85%の光束を保つように設計されています。
- 電源投入から数秒後に調光状態（初期照度補正状態）となります。始動時の数秒間は明るさが異なりますが異常ではありません。
- 光源として高輝度LEDを使用しています。光源部（ライトバー）を長時間直視しないでください。
- ラジオ、テレビや赤外線リモコン方式の機器は照明器具から離してご使用ください。雑音が入ったり、正常に動作しない場合があります。
- 同時通訳機等の誘導無線をご使用になれる場合、雑音が入る場合があります。事前に確認し、対策を講じてください。
- 周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。
- LED素子にバラツキがあるため、同じ品番のライトバーでも光色・明るさが異なる場合があります。予めご了承ください。
- 電源電圧変動などの影響により瞬間的に明るくなったり暗くなったりする場合があります。予めご了承ください。
- ライトバーの品種により始動時間が異なる場合があります。
- 点灯直後・消灯直後にプラスチックの伸縮によるさしみ音が発生する場合がありますが、故障や異常ではありません。
静かな環境や密集取付でご使用の場合、さしみ音が気になる場合があります。
このような場合は直管LED等のプラスチック製カバーのないタイプをお勧めします。
- ライトバーの品種により始動時間が異なる場合があります。予めご了承下さい。
40形5200lm非調光（省エネ・センサ付・非常灯除く）と20形800lm非調光の場合は、瞬時に点灯します。
- 停電などによる電源遮断時も累積点灯時間は保持されますので、自動初期照度補正機能は電源再投入後も正しく動作します。
- 調光機器などとの組合せはできません。
- 同一空間で電源回路を分ける場合、一方のみを消灯すると、境界付近の器具は同じ電源回路内の他の器具とLED輝度に差が生じる場合があります。
- センサの特性上、下記に類似したケースなど、適正照度が得られず、周囲の同タイプ器具と明るさが異なる場合があります。予めご了承ください。

（例）

- 直下に、ロッカーなどの背の高い什器が設置された場合、まわりの明るさを適正に検知できず、適正照度が得られない場合があります。
- 明るさセンサが壁面やパーティション近傍などに配置された場合、壁面の影響を受け適正照度が得られない場合があります。
- センサの検知エリア内でスポットライトなどが入切されたり、空調の影響などで明るさが変化するとその影響を受け、適正照度が得られない場合があります。

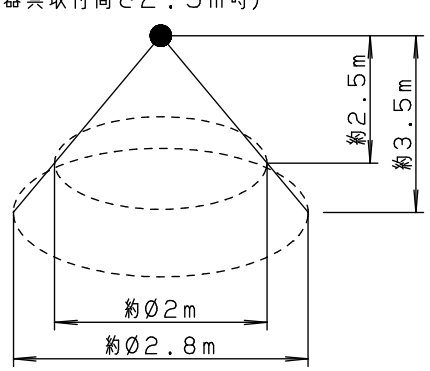


隣接の照明光の影響を受けます

故障かな？と思ったときは（明るさセンサの場合）

現象	確認事項	処置方法
照明器具が暗すぎる。	什器の移動などで、センサの検知範囲内の反射率が高くなっていませんか？	[設定スイッチが“モード1”の場合] 8ページ記載の『明るさ記憶のリセットについて』を参照し、明るさの記憶をリセットしてください。 [設定スイッチが“モード2”の場合] 電源を1分以上OFFした後、11分以上点灯し再度電源を1分以上OFFし、点灯してください。
	昼光や他の光源から光が検知エリア内に入射していませんか？	センサの検知エリア内の明るさを一定に保つ為の動作ですので異常ではありません。
照明器具が明るすぎる。	什器の移動などで、センサの検知範囲内の反射率が低くなっていませんか？	[設定スイッチが“モード1”の場合] 8ページ記載の『明るさ記憶のリセットについて』を参照し、明るさの記憶をリセットしてください。 [設定スイッチが“モード2”の場合] 電源を1分以上OFFした後、11分以上点灯し再度電源を1分以上OFFし、点灯してください。
	明るさセンサの表面が汚れていませんか？	明るさセンサの汚れを軟らかい布で拭き取ってください。
器具ごとにLEDの輝度に差がある。	設置場所の違いにより昼光の入射状態に違いはありませんか？	センサの検知エリア内の明るさを一定に保つ為の動作ですので異常ではありません。
昼間外光が入っているのに照明器具が調光しない。	設定スイッチが“センサ切”になっていませんか？	設定スイッチを“モード1”または“モード2”に設定してください。
	前回、外光が入る屋間に電源ON-OFFしませんでしたか？	[設定スイッチが“モード1”の場合] 8ページ記載の『明るさ記憶のリセットについて』を参照し、明るさの記憶をリセットしてください。 [設定スイッチが“モード2”の場合] 電源を1分以上OFFした後、11分以上点灯し再度電源を1分以上OFFし、点灯してください。

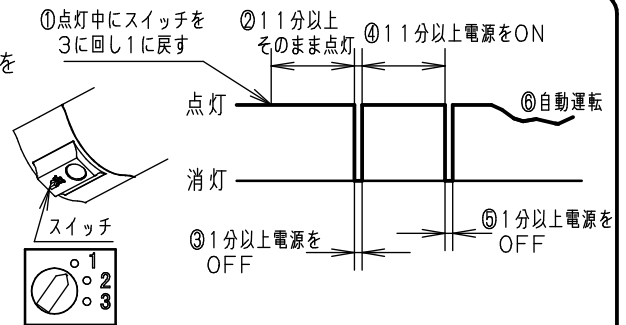
商品仕様（明るさセンサの場合）

使用環境	一般屋内
使用温度範囲	5～35℃
明るさフィードバック制御可能範囲	設置（天井） 面照度 20～700lx
調光動作範囲	約10～85%
使用センサ	明るさ（光量）センサ
センサ検知エリア	約φ2m（器具取付高さ2.5m時） 
補正スピード	1%/s”モード2”・・・自動で明るさ目標値を更新する。
明るさおまかせ機能切替	”モード1”・・・明るさ目標を固定する。 ”モード2”・・・自動で明るさ目標値を更新する。 ”センサ切”・・・明るさによる制御を行わず、自動初期照度補正の動作とする。
外部連動	不可

明るさ記憶のリセットについて（モード1での使用）

レイアウト変更があった場合や、明るさの記憶がうまくできなかった場合、明るさの記憶を外光の入ってくる屋間に設定した場合など、記憶している明るさをリセットする必要があります。
下記の方法に従い、明るさの記憶をリセットしてください。
設定は夜間など、外光が入ってこない時に実施してください。

- ①点灯中にスイッチを3に回し、スイッチを1に戻す。
- ②1分以上そのまま点灯させる。
- ③1分以上電源をOFF（消灯）させる。（明るさ記憶がリセットされます）
- ④1分以上電源をON（点灯）させる。（新たな明るさを記憶します）
- ⑤1分以上電源をOFF（消灯）させる。（明るさを記憶し、次回点灯時に新たな明るさで自動運転されます）
- ⑥点灯直後より明るさ制御による自動運転が開始されます。



保証について

- ・保証について・・・この商品の保証期間は1年間です。但し、LED電源は3年間です。詳細は弊社カタログをご参照ください。
- ・保証書について・・・保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。
- ・補修用性能部品の・・・弊社はこの照明器具の補修用性能部品（電気部品）を製造打ち切り後、6年間保有しております。
保有期間 補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

お手入れ

- ・器具の清掃について・・・
水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。
シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で拭かないでください。
変色・変質、強度低下による破損の原因となります。



- 感電のおそれあり。お手入れ時は、必ず電源を切ってください。
- パネル破損のおそれあり。ライトバーのパネルは樹脂製です。
- 取扱いに注意してください。
- やけどのおそれあり。点灯中や消灯直後はライトバーやその周辺をさわらないこと。

■ 定格	明るさタイプ			6900lmタイプ			5200lmタイプ			4000lmタイプ			3200lmタイプ			2500lmタイプ			2000lmタイプ		
	電圧	電流	電力	100V	200V	242V	100V	200V	242V	100V	200V	242V	100V	200V	242V	100V	200V	242V	100V	200V	242V
	100V	0.45A	44.3W	100V	0.23A	44.3W	100V	0.19A	33.3W	100V	0.34A	27.3W	100V	0.28A	27.3W	100V	0.14A	16.9W	100V	0.17A	13.2W
	200V	0.23A	44.3W	200V	0.17A	33.3W	200V	0.14A	27.3W	200V	0.14A	27.3W	200V	0.11A	21.5W	200V	0.09A	16.9W	200V	0.09A	13.2W
	242V	0.19A	44.3W	242V	0.14A	33.3W	242V	0.12A	27.3W	242V	0.12A	27.3W	242V	0.09A	21.5W	242V	0.07A	16.9W	242V	0.07A	13.2W

パナソニック株式会社 ライティング機器ビジネスユニット 〒571-8686 大阪府門真市門真1048

お問い合わせ先 パナソニック 照明と住まいの設備・建材お客さまご相談センター

0120-878-709（フリーコール） 0120-872-460（FAX）

N1014-060816